



# 道しるべ

医療の原点は思いやり

## 胃がんについて

胃がんの  
初期症状は  
気づきにくいものです。  
早期発見のために、  
定期的な検診を  
おすすめします。



副院長兼消化器内科部長 齋田 康彦

2016年の国立がんセンターの統計では、胃がんは年間罹患者数第2位、死亡数第3位のがんです。消化器内科では、健診で要精査の方や、症状のある方に、内視鏡検査により胃がんがないか検査します。胃がんがあった場合には、血液検査、CT検査等により病状の評価をして、病状に応じた適切な治療を患者さんに提案しています。また、早期の胃がんで適応がある場合には、内視鏡による粘膜切除や剥離術を行い、胃を切除せずにがんの治療を行ったり、消化器外科と協力して縮小手術も行ったりします。手術適応のない進行した胃がんでは抗がん剤を主体とした化学療法、症状に応じた薬物療法や内視鏡治療も行っています。

消化器外科部長 松本 圭五

胃がんの手術は消化器外科で行います。胃を切除する範囲は、がんのある部位と病期(ステージ)から決定します。胃だけでなく胃の周囲の転移の危険性の高いリンパ節も切除し、食物の通り道をつくり直す手術(消化管再建)を行います。早期の胃がんには、体への負担の少ない腹腔鏡手術も行っております。病期によっては、肉眼的には手術で切除できた場合でも、目に見えない微小ながんに対して、再発予防を目的として術後補助化学療法を行います。また、術後の転移や再発時の抗がん剤治療も行っています。



### 病院のかかり方にご理解とご協力をお願いします。

当院は、国(厚生労働省)の方針に基づき、かかりつけ医の先生が患者様の体の状況や治療内容などを記載した紹介状により受診していただく仕組みとなっています。患者様が安心して、スムーズに受診していただくために、ご理解とご協力をお願いします。

# 病気の おはなし

## やけどについて

形成外科医長 谷口佳代子

冬に多いやけどを防ぐために、ご家庭でできることがあります。

### 子どものやけど

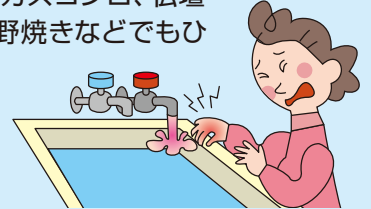
電気ケトルの電源コードを引っ張り、熱湯を浴びる事故が相次いでいます。お湯が沸くまでその場を離れず、沸いたらすぐに使い切ってください。ポットは倒れてもお湯が出ないものを使ってください。子どもは皮膚が薄くキズアトが残ると成長を妨げる場合もあります。



電気ケトルによるやけど事故が後を絶ちません!!  
子どものいるご家庭は要注意!

### 高齢者のやけど

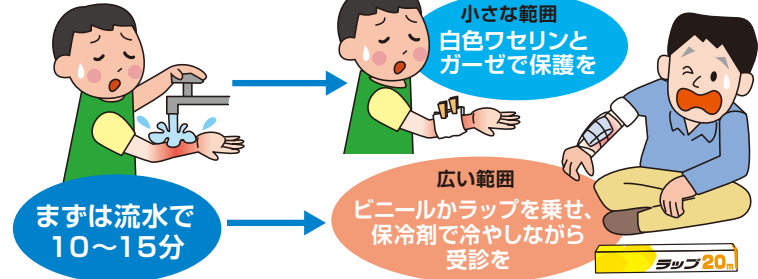
熱湯の出る赤い蛇口、お風呂にありませんか? 追い炊き中の出口には絶対に足を近づけないでください。湯たんぽ、ストーブの上のやかん、ガスコンロ、仏壇のろうそく、野焼きなどでもひどいやけどを負ってしまいます。



### やけどをしたら

まずは流水で10~15分冷やしましょう。小さな範囲であれば白色ワセリンとガーゼ保護で当日は問題ありません。広範囲ならビニールかラップをのせて、保冷剤で冷やしながら受診しましょう。お子さんや高齢者は脱水や細菌感染で重症化することがあり、元気がない、食事が摂れない、尿が少ないなどあれば早めに医師にご相談下さい。

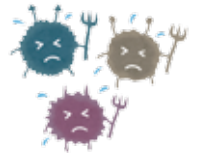
### やけどの応急処置



## 薬剤についての豆知識

## インフルエンザに関する薬について

インフルエンザの治療には、体内でウイルスが増えるのを抑える抗ウイルス薬を使用します。早期に使用を開始すると、発熱期間は短縮され、ウイルス排出量も減少します。症状が軽快してもウイルスは体内に残り周囲へ感染させてしまうことがありますので、決められた用法用量・日数をしっかりと守るようにしましょう。



薬品名	タミフルカプセル75	タミフルドライシロップ3%	リレンザ	イナビル吸入粉末剤20mg
投与方法	内服	内服	吸入	吸入
一般名	オセルタミビル		ザナミビル	ラニナミビル
用法	成人	1日2回5日間	1日2回5日間	1回のみ
	小児への投与	体重37.5kg以上 (10歳以上の未成年者は原則不可)	新生児~投与可	吸入できれば投与可 (10歳未満は成人の半量)

特に、小児・未成年者においてインフルエンザ発症後にお薬の有無にかかわらず、異常行動などの精神・神経症状（急に走り出す・うわごとをいったり興奮したりする・意識がぼんやりするなど）が現れることがあります。少なくとも2日間は、小児・未成年者が一人にならないような配慮が必要です。

インフルエンザにかかってしまった後は治療薬が必要ですが、かからないための予防が大切です。流行前のワクチン接種・咳エチケットを心がける・外出後の手洗いやうがい・適度な湿度の保持・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取・人混みや繁華街への外出を控えるなど、予防を心がけましょう。